

# 民報あばしり

NO.912  
2013/3/31  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四五八  
F四三二一四四五七

## 3月議会 天都山展望台・流水館建替

### このままの建替基本構想には反対

この基本構想は、今の施設のリニューアルでは補えないものを建替えによって解決できるとして出されたのですが、質疑を通して浮かび上がった主な点について述べます。

①年間5万人を見込んでいる眺望、飲食、情報提供機能などの無料ゾーン強化は入館料が見込めません。そのかわりに網走滞留を延ばして宿泊につなげる戦略が必要なのですが、具体的なものが基本構想には見えてきません。



反対討論をする飯田議員

②管理運営に大きく影響する有料入館者の想定数は初年度20万人を予定し、その後、毎年1万人ずつ減少していきます、11年目から12万人台をキープする計画です。他市施設の傾向を参考にして少なめに見込んだという事ですが、網走観光の核を担う施設として、マイナス指向の計画で、この傾向に歯止めをかける意気込みが伝わってきません。

いうまでもなく網走観光業界の最大手は宿泊業界です。宿泊者の増加が網走観光の命運を握っていると言って過言ではありません。そこに戦略のポイントを当てて行くことが基本構想に求められていると思います。なぜこうした事が構想に盛り込まれていないのか、それは「建設先にあるべき」が先行しているからではないでしょうか。

このように、地元業界の声が反映されているとは思われない基本構想には反対しました。

訂正します。先週号の表題が「24年度予算」とありましたが、「25年度予算」に訂正します。

## 安倍東奔西走

安倍自公政権の生活保護基準の引き下げは、さまざまな方面に多大な影響を与えようとしています。3月議会での質疑で網走市での介護保険にも大きな影響が出る事が判明しました。まずは介護保険料が、非課税の方の第2・3・4段階から課税の方の第5段階に変更になると、月額で590円から2940円が負担増となります。

介護サービスの自己負担はさまざまな分野で軽減段階が変更となり、介護保険制度導入時から社会福祉法人の利用料の軽減措置もなくなり、特定入所者介護サービス費用の食費・居住費の負担限度額認定などもなくなり、その後、2014年4月から消費税増税8%が待ち受け、その1年後には3年ごとに更新する第6期介護保険事業計画では、大幅な保険料値上げと給付サービス制限が待ち受けています。

保険と言っても、「介護が必要だよ」という認定がなければ受けられない、保険料だけは、少ない年金から天引きする、ひどいやり方は許せません。弱者の団結で反撃を！

## 松浦奮戦メモ

3月議会が終わった翌日の22日に、私の住む町内でお茶の間懇談会をしました。最初にDVDで参議院選の比例候補の街頭演説を聞いて、その後、3月議会の報告をしました。

「身近な問題として乳幼児医療費無料化拡大の問題では、管内の実施状況と網走市の現状をだして、約1600万円あれば就学前まで無料化ができる。流水館が赤字になれば一般会計から繰入れるのに、子ども健康・命にかかわる乳幼児医療費無料化拡大には、お金を出さないとおかし。また、生活保護基準の引き下げ問題では、就学援助をはじめ38の制度に影響を与える」ことでは驚きの声や意見が出されました。

お茶の間を提供してくれた方から、新聞の投書欄で高齢者の方が、今後の暮らしに不安を抱いている記事が話題になり、安心して暮らせる世の中にするために、参議院選挙で共産党を大きくしましょうと確認して終わりました。

## 流水

